

急な要請にもかかわらず、お集りいただき感謝申し上げます。

本日、北海道防衛局の現地連絡本部から、「今回の千歳基地における訓練移転は終了した。」との連絡がありましたことから、これを持ちまして「三沢飛行場から千歳基地への訓練移転」が終了となりますので、ご報告いたします。

なお、千歳基地内に残っている戦闘機や、米軍関係者が帰還するまでの間、引き続き、万全の体制を維持してまいります。

今回の訓練移転では、9月26日から10月4日まで、計19回の訓練が実施され、「訓練に関する事件・事故はなかった」との連絡を受けておりますが、米軍人によるトラブルが1件ございました。

このたびの訓練にあたりましては、協定の遵守をはじめ、訓練計画の2段階による早期の事前公表や連絡協議会開催のほか、住民等の対応窓口となる現地連絡本部の設置など、これまでの国との協議経過を踏まえ、着実に実行されたものと受け止めております。

市といたしましては、今後、訓練の公表から終了までの間における市民周知や連絡体制、騒音測定などの対応について、庁内の対策会議などの場で検証し、次回以降の訓練に活かしてまいりたいと考えております。

今回の訓練移転に当たり、市民の皆様のご理解や関係団体、報道機関の皆様のご協力に対しまして、厚く御礼を申し上げます。

私からの説明は以上でございます。米軍人によるトラブルにつきましては、担当から説明をいたします。

### 【総合政策部参与】

それでは、この度の米軍人によるトラブルについて、ご説明いたします。

９月２８日に北海道防衛局から市に連絡があり、「９月２８日午前５時頃、千歳市内において、米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に参加している米軍人が、正当な理由なく、民間人の車両に侵入した事案が発生した。」「警察からは、当時の状況については調査中であるものの、事件性はないと聞いている。」との内容でございます。

市の対応としましては、翌日、９月２９日に北海道防衛局に対して、「米軍における事件・事故は、住民の皆様多大な不安を与えることから、米側に徹底した規律の維持及び綱紀肅正等を図るよう求めること」について、強く申し入れております。

市としましては、事件性はないとは言え、市民の安全と生活環境を守るためにも、あってはならない行為と受け止めており、今後、北海道防衛局からいただける情報については、１２月の市議会総合開発特別委員会で報告させていただく予定でございます。

なお、本市においては、事件・事故はなく、市民からの苦情・問合せ等についてもないところでございます。

説明については以上でございます。

### 【市長】

説明は以上でございます。ご質問があれば、お受けいたします。